

新学術領域レゾナンスバイオ公開シンポジウム

Swinging on the Chromophore

平成28年3月16日（水）13：00～17：35

（12：15 受付開始）

会場：KKR熱海

参加費：無料・要登録

申込先・シンポジウムURL：<http://www.riken.jp/briect/RBio/RBioSymp15.html>

生命現象を光で観る・操る技術の真髄は、つまるところ「発色団上のパイ電子の揺らし方」を窮めることにあります。バイオイメージングの新奥義を求めて、プローブ色素、光学顕微鏡、ソフトウェア、サンプル調製法などを協調的に開発することを目的に掲げ、新学術領域研究「共鳴誘導で革新するバイオイメージング」（略称：レゾナンスバイオ）が平成27年度に発足しました。このたび平成28年3月16日に、当領域計画班代表者が起案・試案を語る会“Swinging on the chromophore”を開催する運びとなりました。生物学、生化学、光学、材料学、工学、情報学などの境界を越えて、様々な生命現象や方法論に興味のある方を参集し、当該分野の方向性について議論する場としたいと考えております。皆様のご参加をお待ちしております。

講演プログラム



「レゾナンスバイオの三角錐」宮脇 敦史 (理化学研究所)

「革新的イメージング技術とがんモデルメダカを駆使したがん転移研究」今村 健志 (愛媛大学)

「細胞間コミュニケーションのライブイメージング」松田 道行 (京都大学)

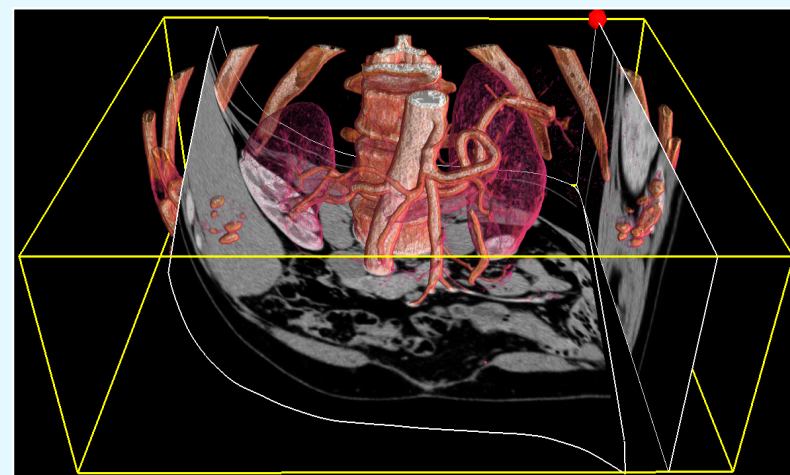
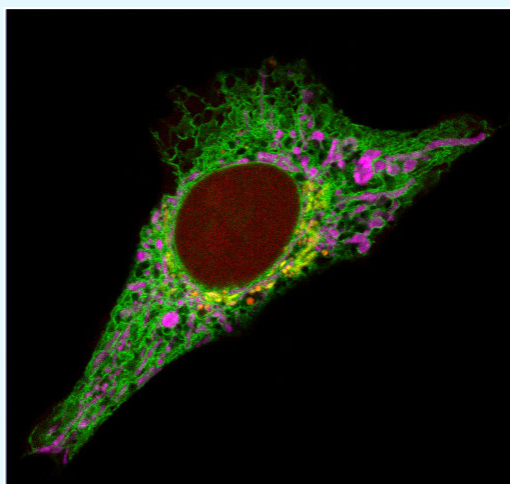
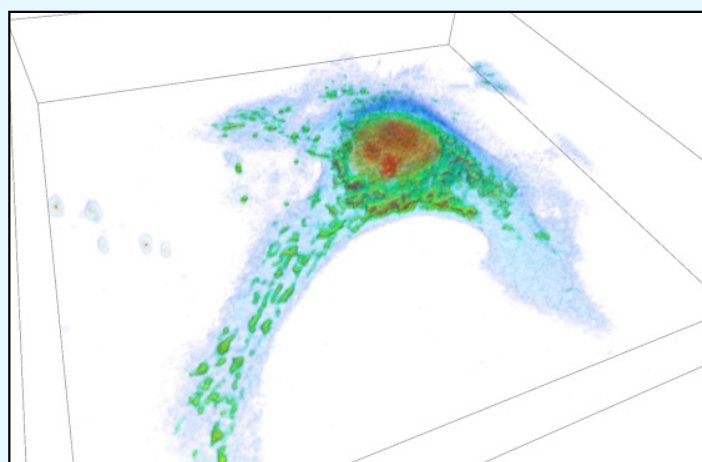
「レーザー光技術を用いた新規バイオイメージング法の開発」根本 知己 (北海道大学)

「SBWにおけるバイオフォトニクス現状と展開」曾我 公平 (東京理科大学)

「新しいスイッチング機構に基づく高精度蛍光イメージングプローブの開発」神谷 真子 (東京大学)

「バイオイメージングプロセッシング」横田 秀夫 (理化学研究所)

18:30-20:30: 懇親会 (KKR熱海)



主催：科学研究費補助金新学術領域「レゾナンスバイオ: 共鳴誘導で革新するバイオイメージング」

共催：理化学研究所 光量子工学研究領域、理研「多階層をつなぐ4D細胞計測の次世代化による細胞動態の理解と操作」、京都大学 SPIRIT